臨 床 看 護 学

成人看護学Ⅱ(外科系)研究室

教 田 澤 賢 次 授 美 樹 助 教 授 八 塚 智 美 助 手 安 田 助 手 吉 井 美 穂

◆ 著 書

- 1) 田澤賢次:全身的なケアー基礎疾患の理解と援助ー. 創傷ケア基準シリーズ(2) 瘻孔・ドレーンのケアガイダンスー. 日本看護協会認定看護師制度委員会創傷ケア基準検討会, 297-309, 東京, 2002.
- 2) 田澤賢次:皮膚に影響を与える要因. 創傷ケア 基準シリーズ(3) -スキンケアガイダンス,日 本看護協会認定看護師制度委員会創傷ケア基準検 討会,37-61,東京,2002.
- 3) 田澤賢次:がん皮膚転移時のスキンケア. 創傷 ケア基準シリーズ(3) - スキンケアガイダンス-. 日本看護協会認定看護師制度委員会創傷ケア基準 検討会, 279-282, 東京, 2002.
- 4) 田澤賢次, 水島 豊: 天然アップルペクチン: 男と女の腸内ミステリー. イルカBOOKS, 東京, 2002.

● 原 著

- 1) 南村哲司, 笹原孝太郎, 新井英樹, 田澤賢次, 塚田一博: Endo GIAを用いたtwo chamber ileal pelvic pouch 再建術.手術, 56(3):351-355, 2002.
- 2) 和田重人, 古田 勲, 田澤賢次: 誘導磁場加温 の歯内療法への応用とその可能性について. The Quintessence, 21(5):199-202, 2002.
- 3) Sekiya N., Goto H., Tazawa K., Oida S., Shimada Y., Terasawa K.: Keishi-bukuryogan preserves the endothelium dependent relaxation of thoracic aorta in cholesterolfed rabbit by limiting superoxide generation. PHYTOTHERAPY RESEARCH, 16:524-528, 2002.
- 4) Kayoko Inoue, Iwao Hirosawa, Miki Yatsuzuka, Takeo Yoshinaga and Akio Koizumi: Utilization of Medical Tasks in a Hospotal Setting-With Special Reference to Tasks Done by Nurses. J Occup Health, 44:360-372, 2002.
- 5) 田澤賢次, 跡見 裕:排便機能障害及びストーマ・リハビリテーションーストーマ・リハビリテーショ

ンについて-. 日本医師会雑誌. 127(4):531-537, 東京, 2002.

◆ 総 説

- 1) 田澤賢次: ガンや老化, 動脈硬化の元凶を消し 去るりんごの食物繊維ペクチンの力は加熱すれば さらに効果は5倍に高まる. 健康, 27(11):72-73, 2002.
- 2) 田澤賢次:日本ストーマリハビリテーション学 会理事長に就任して-ストーマケアの現状に対する 認識と今後の方向-. ALmedia, 6(4):1-2, 2002.
- 3) 田澤賢次: ガン退治に最適の熱さで熱してガン 細胞を殺す電磁波療法が登場し皮膚ガンに卓効. 開花, 6(6):181-182, 2002.

◆ 学会報告

- 1) 吉井美穂, 稲垣邦代, 田澤賢次, 安田智美, 八 塚美, 中村裕美: 新開発された皮膚保護剤の各種 温度別環境下における静菌作用の検討. 第19回日 本ストーマリハビリテーション学会, 2002, 2, 熊 本.
- 2) 谷優美子, 八塚美樹, 田澤賢次: ストーマ外来 における患者支援-癌患者用自己効力感尺度から の考察-. 第19回日本ストーマリハビリテーショ ン学会, 2002, 2, 熊本.
- 3) 田澤賢次:瘻孔の管理:アセスメントとストラ テジーー消化管瘻孔の全身管理ー.第19回日本ス トーマリハビリテーション学会(教育セミナー講 演),2002,2,熊本.
- 4) 田澤賢次:日本における皮膚保護剤の歴史と発展.第7回日中大腸肛門病学術交流会,2002,2, 熊本.
- 5) 田澤賢次: 食生活と癌-自然志向型食生活のす すめ. 平成14年度奥田校下住民健康教室, 2002, 3, 富山.
- 6) 田澤賢次: りんごと健康. 青森りんご講演会 (特別講演), 2002, 1, 新潟.
- 7) 田澤賢次: ソルトレーク冬季オリンピックにおけるノルデックスキーチームドクターとしての関わり. 平成14年度富山県アスレテックトレーナー協会第3回特別研修会(招請講演), 2002, 3, 富山.
- 8) Tazawa Kenji: Skin Barriers for Stoma Care-Past, Present and Future. The 1st Congress of the Asian Society of Stoma Rehabilitation (Invited speaker), 2002, 4, Osaka.
- 9) Yasuda T., Yatsuzuka M., Yoshii M., Furuya Y., Hashiba Y., Tazawa K.: Sex life

- satisfaction and marital relationship satisfaction in male ostomates. The 1st Congress of the Asian Society of Stoma Rehabilitation, 2002. 4. Osaka.
- 10) Hashiba Y., Furuya Y., Yoshii M., Yasuda T., Yatsuzuka M., Tazawa K.: Research into "Smell" reported in the Japanese Society of Stoma Rehabilitation. The 1st Congress of the Asian Society of Stoma Rehabilitation, 2002, 4, Osaka.
- 11) Furuya Y., Hashiba Y., Yoshii M., Yasuda T., Yatsuzuka M., Tazawa K.: Content analysis of skin barriers reported by the Japanese Society of Stoma Rehabilitation. The 1st Congress of the Asian Society of Stoma Rehabilitation, 2002, 4, Osaka.
- 12) Tani Y., Yoshii M., Yasuda T., Yatsuzuka M., Tazawa K.: Support of patients at the outpatient stoma clinic: Evaluation using a self-effecacy scale for cancer patients. The 1st Congress of the Asian Society of Stoma Rehabilitation, 2002, 4, Osaka.
- 13) 田澤賢次: りんごと健康について. 青森りんご 講演会 (特別講演), 2002, 6, 東京.
- 14) 田澤賢次: 創傷治癒の局所環境・全身環境ー創 傷管理に忘れられているメカニズムを探るー. 第 10回外科侵襲研究会(招請講演), 2002, 6, 東京.
- 15) 田澤賢次: デキストランマグネタイトを用いる 誘導加温によるハイパーサーミアの可能性. 第18 回東海ハイパーサーミア懇談会 (特別講演), 2002, 6, 名古屋.
- 16) 小川耕平, 田澤賢次, 吉井美穂, 北条直美, 古谷由香里, 伊藤要子: 遠赤外線加温装置により誘導したHSP70による生体防御作用への応用ークロスカントリースキー選手の競技力向上への応用. 第3回北陸温熱療法談話会, 2001, 8, 福井.
- 17) 古谷由香里, 田澤賢次, 小川耕平, 橋場有紀, 岡野純代, 吉井美穂, 安田智美, 八塚美樹: 遠赤 外線照射加温による汗に誘導される活性酸素の動 態. 第3回北陸温熱療法談話会. 2002, 8, 福井.
- 18) 田澤賢次:電磁誘導加温法によるハイパーサーミアの理解と臨床への応用. 第3回北陸温熱療法 談話会(教育講演),2002,8,福井.
- 19) 田澤賢次, 小川耕平, 伊藤要子, 古谷由香里, 岡野純代, 吉井美穂, 安田智美, 八塚美樹: 遠赤 外線照射加温によるHSPの誘導と運動能力向上 への効果. 第15回日本バイオセラピィ学会学術集

- 会総会, 2002, 11, 札幌.
- 20) 小川耕平, 田澤賢次, 吉井美穂, 伊藤要子, 山地啓司, 北条直美, 井口文雄: 予備加温による Heat Shock Protein(HSP)の誘導と運動パーフォマンスの関係. 第57回日本体力医学会大会, 2002, 9, 高知.
- 21) 小川耕平,田澤賢次,伊藤要子,古谷由香里, 橋場有紀,岡野純代,吉井美穂,安田智美,八塚 美樹:遠赤外線照射加温によるHSPの誘導と運動 パーフォマンスへの効果.第13回冬季スポーツフォー ラム,2002,10,さいたま市.
- 22) 田澤賢次:皮膚保護剤と褥瘡の管理-最新の知 見一. 第25回糸魚川総合病院院内集談会(招請講演), 2002, 8, 糸魚川市.
- 23) 田澤賢次: プレヒートによるHSP (熱ショック 蛋白) 誘導と身体能力の向上. 第7回全身ハイパー サーミア研究会 (特別講演), 2002, 12, 東京.
- 24) 田澤賢次,安田智美,吉井美穂,八塚美樹,斎藤智裕,大上英夫,田澤賢一,渡辺雅孝:舞茸乾燥粉末温水抽出成分MDフラクションより得られた分画の活性酸素消去能.第61回日本癌学会総会,2002,10,東京.
- 25) Tazawa Kenji: Basic concept in peristomal skin care-Especially the role of skin barriers. The 2nd Seoul Society of Stoma Rehabilitation (Invited speaker), 2002, 9, Seoul.
- 26) 八塚美樹, 安田智美, 吉井美穂, 田澤賢次, 梶原睦子: 学生の立案した看護診断, 術前「不安」の関連因子の分析, 第28回日本看護研究学会学術集会, 2002, 8, 横浜.
- 27) 荒木良子, 浜手富美子, 背戸草代, 寺井照美, 大川幸江, 田形由美子, 吉井美穂, 八塚美樹: 点 滴固定された幼児の効果的な手洗い方法の検討, 第33回日本小児看護学会, 2002, 9, 富山.
- 28) 扇子美由樹,原 元子,八塚美樹,津田裕子, 平田昌義:血液透析患者の介護保険適用時の問題 点-高齢透析患者の夫婦への関わりから-,第47 回日本透析医学会学術集会,2002,7,東京.
- 29) 吉井美穂, 八塚美樹, 安田智美, 田澤賢次:学生が立案した看護診断術前「不安」の定義上の特性に関する分析, 第3回富山医科薬科大学看護学会学術集会, 2002, 11, 富山.
- 30) 橋場有紀, 古谷由香里, 谷優美子, 岡野純代, 吉井美穂, 安田智美, 八塚美樹, 田澤賢次: オストメイトの「におい」における研究の歴史, 第3回富山医科薬科大学看護学会学術集会, 2002, 11, 富山.

- 31) 八塚美樹, 鴻巣聡子, 上田京佳, 原 元子, 葭原夕紀子, 吉井美穂, 寺西秀豊, 落合 宏:富山県内一般若年層のラテックスアレルギーに関する実態調査, 第3回富山医科薬科大学看護学会学術集会, 富山, 2002.
- 32) 八塚美樹, 吉井美穂, 安田智美: 保育園児をもつ母親のインフルエンザワクチン接種率向上にむけた実態調査, 第22回日本看護科学学会学術集会, 2002, 12, 東京.
- 33) 吉井美穂, 八塚美樹, 安田智美: 成人看護学周 手術期実習における学生の実習イメージの変化-実習前後のアンケート調査を通して-, 第22回日 本看護科学学会学術集会, 2002, 12, 東京.
- 34) 大西典子, 山下優子, 大上英夫, 廣川慎一郎, 塚田一博, 安田智美, 根本秀美: 腸脱出時のスキンケアと装具選択のポイントについて, 第16回日本小児ストーマ・排泄管理研究会, 2002, 22, 熊本.
- 35) 田澤賢次: マイナスイオンのスポーツ選手への 使用効果, 第7回全国マイナスイオン医学会(招請講演), 2002, 10, 熱海.
- 36) 田澤賢次: ストーマケアに必要な自然治癒メカニズムを探る. 第16回中国・四国ストーマリハビリテーション研究会(招請講演), 2002, 8, 広島.
- 37) 田澤賢次:予防医学と食習慣(免疫力と食事). 第10回富山県栄養代謝研究会, 2002, 6, 富山.
- 38) 田澤賢次: りんごと健康効果について. 平成14 年度全国りんご共販大会(特別講演), 2002, 8, 青森.
- 39) Wada S., Tazawa K., Saito T., Minamimura T., Yamazaki Y., Igarashi K., Furuta I., Nagae H.: Development of the portable inductive heating system using Dextran magnetite complex (DM)-heating characteristics of DM in vitro study. The 3nd Asian Congress on Hyperthermic Oncology, 2002, 4, China, Zhengzhou.

◆ その他

- 1) 谷優美子, 八塚美樹, 田澤賢次: ストーマ外来 における患者支援. ーがん患者用自己効力感尺度 からの考察, 第3回成人看護学(急性期)集談会, 2002, 3, 富山.
- 2) 古谷由香里,田澤賢次:日本ストーマリハビリテーション関連学会において発表された皮膚保護剤の内容分析,第3回成人看護学(急性期)集談会,2002,3,富山.
- 3) 橋場有紀, 田澤賢次:日本ストーマリハビリテー

- ション関連学会において発表された臭いにおける 研究の歴史,第3回成人看護学(急性期)集談会, 2002,3,富山.
- 4) 荻浦陽子, 能田暁子, 田澤賢次: 月経時・非月 経時における静脈血液流動性の変化ー血液流動性 計測装置MC-FANを用いた検討, 第3回成人看 護学(急性期)集談会, 2002, 3, 富山.
- 5) 豊田優貴子, 松本優美子, 八塚美樹: 褥瘡予防 マットレスの体圧分散に関する研究, 第3回成人 看護学(急性期)集談会, 2002, 3, 富山.
- 6) 小川耕平, 北條直美, 田澤賢次:予備加温によるHSPの誘導が及ぼす生理的変動, 第3回成人看護学(急性期)集談会, 2002, 3, 富山.
- 7) 北條直美,小川耕平,八塚美樹,田澤賢次:ア スリートにおける保健行動の実態,第3回成人看 護学(急性期)集談会,2002,3,富山.